

加藤孝爾 陶芸展



《月白花器》2012年
H33.3×W20.0(cm)

平成30年

2月3日(土)

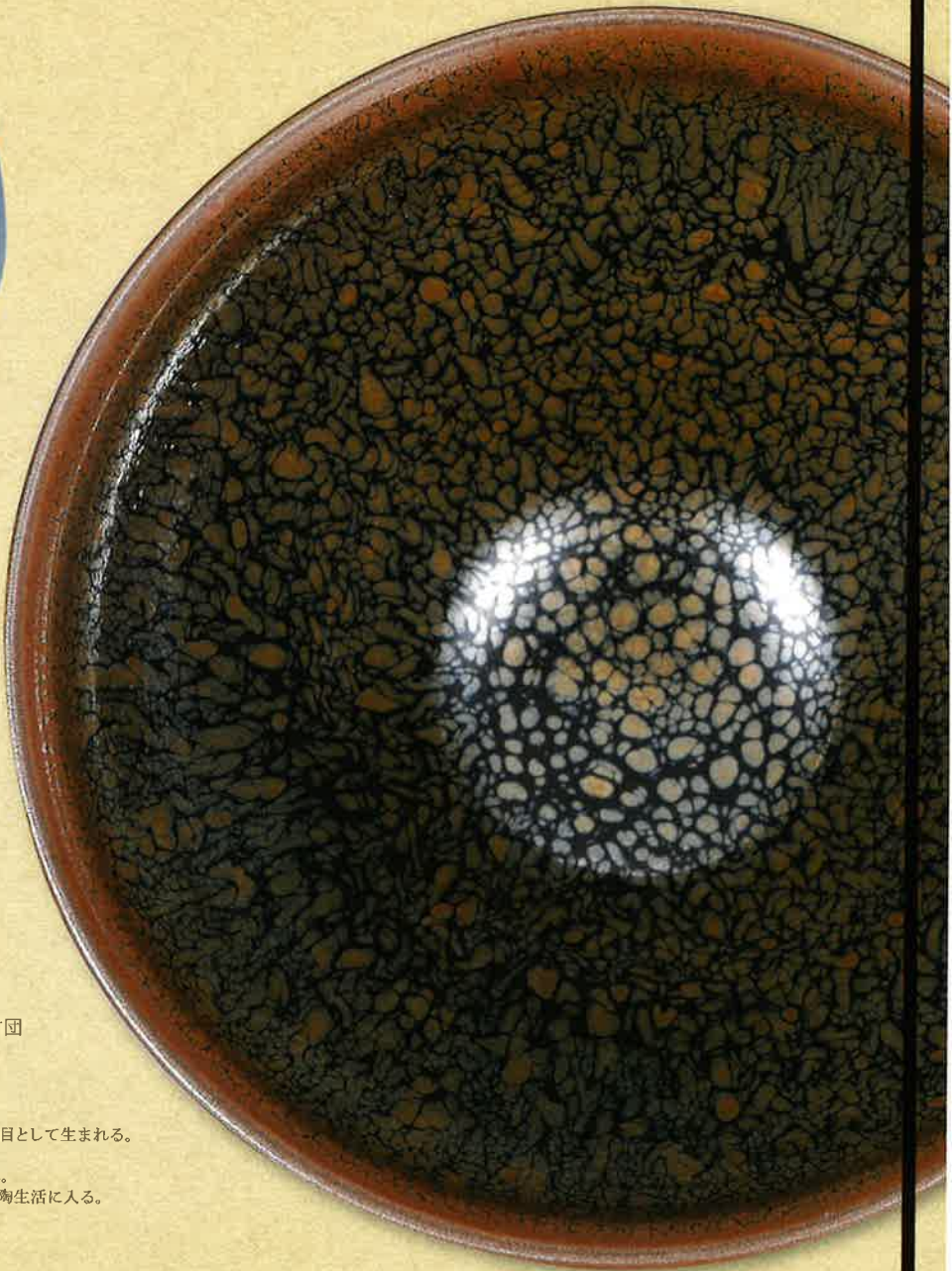
～4月8日(日)

- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 2月13日(火)、3月13日(火)
- 入館料 一般: 300円(240円: 20名以上の団体)
高大生: 200円(160円: 20名以上の団体)
中学生以下、妊婦、65歳以上、
障害者手帳をお持ちの方は無料
- 主催 瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団

略歴

加藤 孝爾 (かとう こうじ)

- 1959年 愛知県瀬戸市で代々染付磁器を制作する窯元「真玉園」の八代目として生まれる。
- 1980年 武蔵野美術短期大学工芸デザイン科卒業後、
京都炭山工芸村にて森里陶楽氏に師事し、三島手の技法を学ぶ。
- 1985年 郷里瀬戸にて油滴天目の第一人者である父孝俊氏のもとで、作陶生活に入る。
- 1988年 ギャラリーサンアート(名古屋)にて初個展。
- 1994年 大丸(京都)にて個展。
- 1998年 大丸(京都)にて個展。
- 2002年 三越(新潟)にて個展。
- 2004年 三越(新潟)、伊勢丹本店(東京)にて個展。
- 2006年 ギャラリー茜(名古屋)にて個展。
- 2010年 赤坂游ギャラリー(東京)にて個展。



《油滴天目》2016年
H7.0×W12.0(cm)